

主張

三重県保険
医協会は、6
月17日第45回
定期総会を開
催し、2018

年度の新しい活動方針お
よび決議を採択した。今
年度以降も「経済・財政
再生計画」に基づき、医
療・介護の給付抑制・削

減および患者・利用者の
負担増計画がめじろ押し
である。しかしその詳細
は患者・国民に十分周知
されないまま、国会で数
の力により強引に実施が
決定されていくのが現状
である。

医療分野の今年の患
者窓口負担増計画の目
玉は、75歳以上の高齢者
の窓口負担2倍化、かか
りつけ医以外の受診時定
額負担導入、市販類似薬
の保険外しなどである。

さらに都道府県別に異な
る診療報酬単価の設定
や、経済状況で保険給付
率を自動調整するという
公的医療保険制度の理
念を放棄するような案が
政府与党から出されてい
る。また介護分野では、
介護保険料引き上げと

クイズハガキなどで医
療・介護改悪の内容を広
く患者・国民に知らせ、
患者負担増を阻止するた
め、会員皆さんの待合室
から、地域から、患者・
国民とともに連携しつづ
医療運動を強く推し進め
ていかねばならない。

療所が経営困難の危機
にさらされている。また
そのような状況の中、義
歯や冠を作る歯科技工士
は、長時間、低収入とい
う労働条件の下で20歳
代の離職者が80%を超え
るといふ危機的状況であ
る。歯科衛生士にしても

連携しながら、その実現
に向けて運動のすそ野を
広げていく。
三重協会会則には「開
業保険医と勤務医の生
活と権利を守ると共に、
国民医療の充実と向上
をはかること」とうたわ
れている。消費税増税の
中止、診療報酬の不合理
是正と抜本的な引き上
げ、審査・指導・監査・
適時調査対策、脱原発や
平和の問題、医師の働き
方改革に関する課題や医
科歯科連携の学術研究
会開催など課題は山積し
ているが、会員にとって
「頼れる身近なパート
ナー」であり続けられる
よう、さまざまな協会活
動に会員皆さんの積極的
なご参加、ご意見をお願
いしたい。

患者の窓口負担を 増やすな！

要介護認定の厳格化に
よる介護保険外しによる
利用者へのサービス低下
など、枚挙にいとまがな
い。すでに患者・国民に
格差や貧困は拡大しつつ
あり、受診抑制によるさ
らなる疾病の重症化を招
きかねない。請願署名や

歯科では、健康長寿社
会の実現に口腔機能維
持の重要性が広く認識さ
れてきた。しかし長年に
わたる低歯科医療費政
策と患者窓口負担増に
伴う経済的理由による歯
科受診抑制、治療中断の
増加などで多くの歯科診

これだけ口腔ケアの重要
性が言われている中、正
当な技術的評価がなされ
ておらず、歯科医療崩壊
は待ったなしである。保
険でより良い歯科医療実
現に向けて、今月結成さ
れた「保険でより良い歯
科医療を」三重連絡会と

科医療を」三重連絡会と